

鹿児島県漁海況週報

平成30年5月31日発行(5月24日～5月30日)
第2757報【旧暦:4月10日～4月16日/月齢8.6～14.6/潮汐:長潮～大潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、5月29日現在、平瀬の北11マイル付近にある。

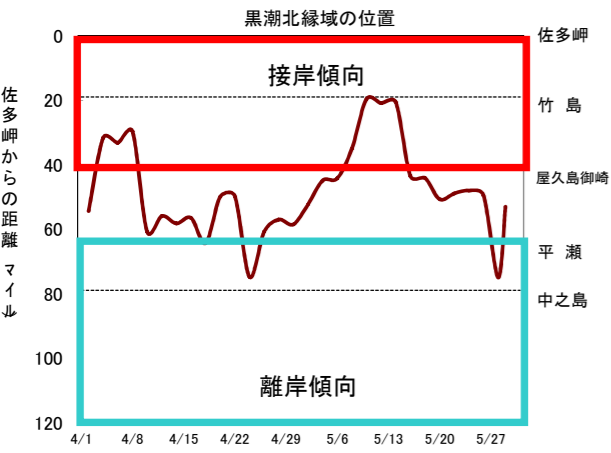
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、5月29日現在、41マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、屋久島御崎で0.3℃降温し、鹿児島、与論で変わらず、その他の海域で0.4～1.6℃升温した。

平年比較では黒潮流域、佐多岬、甌海峡で“著しく高め”、笠利崎で“やや高め”、その他の海域で“かなり高め”、となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	27.5	+1.5	+1.5	著しく高め
鹿児島	22.9	+0.0	+1.4	かなり高め
佐多岬	25.2	+1.6	+3.2	著しく高め
竹島	25.0	+0.8	+1.8	かなり高め
屋久島御崎	25.4	-0.3	+1.6	かなり高め
中之島	26.4	+0.8	+0.9	かなり高め
笠利崎	25.0	+0.4	+0.7	やや高め
与路島	25.1	+0.6	+1.0	かなり高め
与論	25.4	+0.0	+0.9	かなり高め
甌海峡	24.0	+0.9	+2.5	著しく高め

鹿児島～那覇定期客船観測は5/29-30
串木野～甌定期客船観測は5/30

【漁況】

○定置網

甌島海域では、週計でコマサバ(0.6～0.7kg)が1.3トン、メジナ(1kg)が600kg、シイラ(1～4kg)が360kgの入網。西薩南部海域では、マサバ(400～500g)がコマサバ(400～500g)混じりで3～20トン/日、マルアジ(300g)が200kg/日、スマ(1.5～1.8kg)が50～100kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ハガツオ(1.7kg)が1日のみ750kg、コマサバ(600～800g)が130～450kg/日、スマ(1.6～1.9kg)が60～300kg/日、マダイ(400～800g)が1日のみ350kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側ではコマサバ(700～800g)が200～400kg/日、ハガツオ(0.8～2kg)が多い日で1.2トン、カンパチ(3.5～4kg)が1日のみ140kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で51統がウルメイワシ、マアジ、マアジ小主体に53トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカタチイワシ、マアジ、タチウオ主体に19.9トンの入網。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	前週		前年同期		
							隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	0	—	—	—	3	30	4	46	
		中	6	33	縄瀬 甌西	サバ類豆47 スルメイカ32 サバ類中7	5.5	4	27	10	77
	枕崎	大	2	49	竹島 口之島	コマサバ中51 クサヤモロ小45	24.6	2	41	0	—
		中	9	190	種子島南内之浦沖 湯瀬津倉	コマサバ中52 オアカムロ中小27	21.1	16	468	4	131
	内之浦	中	0	—	—	—	—	0	—	1	7
	山川	中	0	—	—	—	—	0	—	0	—
計	大	2	49	—	—	24.6	5	71	4	46	
	中	15	223	—	—	14.9	19	468	15	215	
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	33	37	阿久根沖 長島	カタチイワシ57 ウルメイワシ42	1.1	37	30	16	6	
	内之浦	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	51	53	—	ウルメイワシ29 マアジ豆17 マアジ小14	1.0	38	47	36	78	
刺網	阿久根	79	15	甌 長島 阿久根沖 牛深沖	キビナゴ100	0.2	133	26	47	8	
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	0	—	—	—	0	—	0	—	
		小	0	—	—	—	—	0	—	—	
	海旋	中	6	32	—	カツオ小91 トンホ5	5.4	3	28	6	97
		海旋	2	1214	—	カツオ小73 キダ16 カツオ中6	606.8	2	461	0	—

○キビナゴ刺網

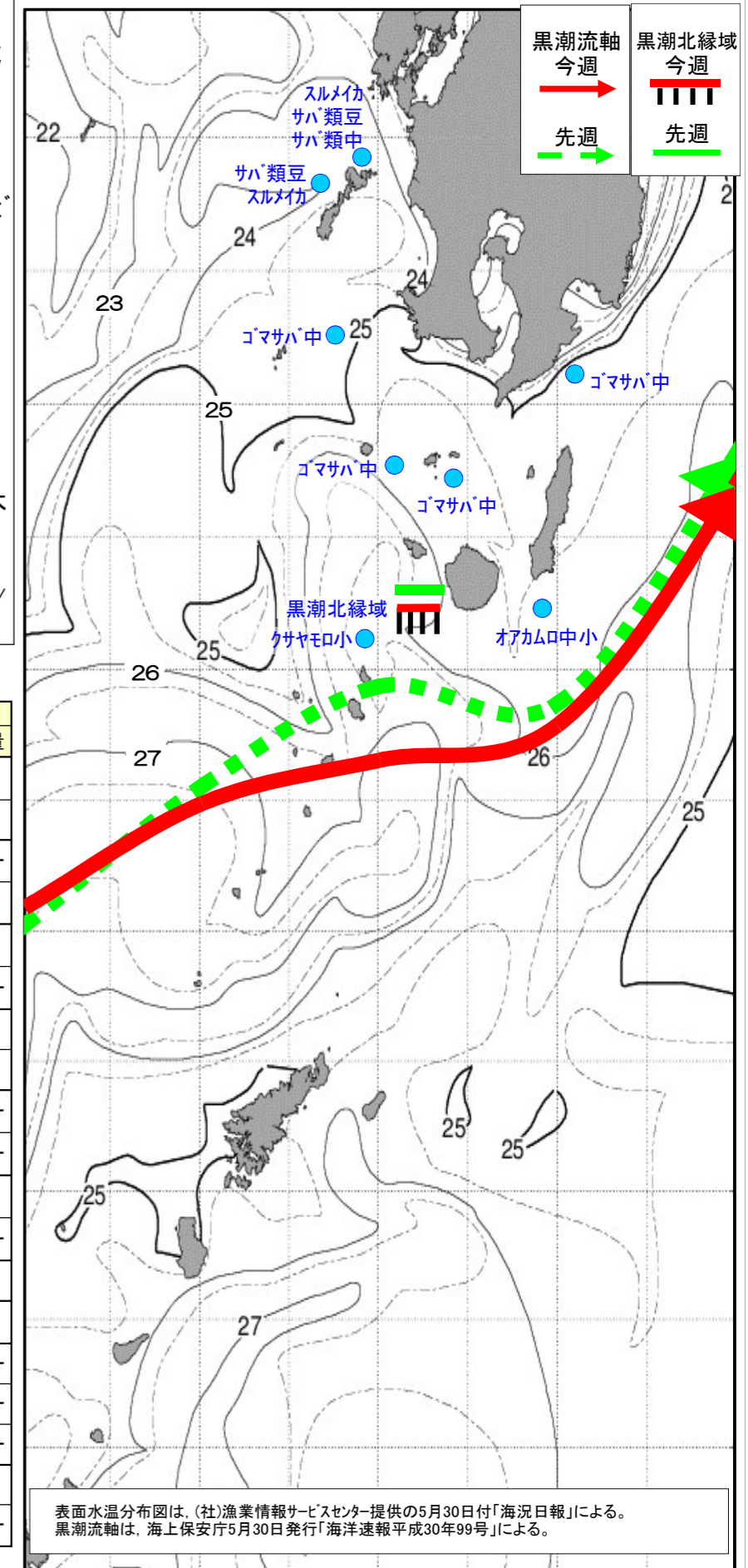
甌島海域では、2～23箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、10～40箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、9～55箱/隻・日の漁。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、中トビを4000～5000尾/統・日の漁。屋久島海域では、中トビを10～32箱/統・日、アオトビを2～3箱/統・日の漁。

○その他

西薩海域では、ごち網でマダイ(0.7～1kg)を10～50kg/隻・日、一本釣でイサキ(500g)を10～30kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナガエビを100～200kg/隻・日、刺網でシロキス(40～100g)を10～17kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、一本釣でコマサバ(700～800g)を40kg/隻・日、曳網でハガツオ(1.5～2.5kg)を20～50kg/隻・日の漁。熊毛海域では、一本釣でコマサバ(500～600g)を20～50kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、一本釣でタチウオ(1～2kg)を30～80kg/隻・日、延縄の3日操業でマダイ(5～8kg)を300kg/隻、ムツ(1kg)を200kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の5月30日付「海況日報」による。
黒潮流域は、海上保安庁5月30日発行「海洋通報平成30年99号」による。